

○輪中聚落地誌

中澤辨次郎纂修 日本農村問題研究所

定價六圓

濃尾勢三州に跨る木曾川下流の低平な洪涵平原を或る所は蜂の巢の目のやうに或る所は網の目のやうに區劃しそこに堤防を築いて一村、一字を守りつゞけて水神の災厄を免がれてゐる所謂輪中といふものは例令は西の國のオランダの低地を海から防いでゐるやうな人類の努力である。勿論今の輪中は和蘭のポルダーと同様だとはいへぬではあらうが濃尾平野の諸川併流による複合的洪涵現象を防禦した過去の人間の努力は或はオランダの人の苦惱よりも大なるものがあつたかも知れない、何れにしても我國に特異な輪中といふ村落形態の發生を地理的に歴史的に研究した文献の纏つた最初の試として我等はこれを歡迎することが出来る。菊版五七六頁尠大な著述であつて圖版も多數である。第一篇はその地理學的研究で別技篤彦君の西濃平野の研究を参照し、河道の變遷をたどり氣象現象に及び、堤塘發達の沿革を論じ、その形態をのべやがて木曾川改修三川分流とその輪中に對する影響を語り人口分布を概説し最後に歴史的過程をのべてある。三川分流治水完成の後になつて、かうした過去の水害と其應急策とを知ることとは温故新知の貴い資料である。況んや分流の後下流は完全に水害から解放されたとしても、その上流に猶不完全な堤防が残つてゐては助かつたとはいへない。たとへ治水が今日出來上つてゐても、百年の後再び災害なしと誰が斷言し得や

うか。即ち本書をすゝむる所以である。(藤田)

○苗族調查報告

國立編譯館出版 烏居龍藏著

烏居龍藏氏が一九〇三年苗族調查報告を出されたのをみて今度支那の譯館でその九章を漢文に翻譯し支那西洋の圖書の引用文で不備な點を補正して新たに譯出したものである。責任者は劉英士である。定價二元捌角、烏居博士の原書と對照してみて、面白いと思ふ。(藤田)

○元代雲南史地叢考

夏光南著 中華書局

定價八角五分

元世祖雲南を平定してはじめてこの方面が支那の版圖に入つたともいへる。勿論戰國時代から漢族と交渉はあつたが、さうして印度への陸路交通もあつたが、中原の人々は之を邊境として顧みなかつたのでさつぱり歴史がわからない、世祖に至つてやうやく平定し佛教大に興隆し風氣大にひらけ明代には鄭和のやうな航海の偉人を出すやうになつた、さうしたこの方面の參考資料として一讀の價があると信じる。(藤田)

雜報

○白耳義領コンゴ

面積九十一萬八千方哩で英領東阿三州よりも大きく、白國委任統治地域ルアンダウルンデイ(タンガニイカ湖東)二萬平方哩を合せて人口千四百四十

萬、東阿よりも三百萬多い。

コンゴリ程河川に恵ぐまれた所はアフリカにも少ない。全領土の半分を蔽ふ熱帯林があつて、パーム、コーバル、ゴム、カカオ等自然採取が出来、高價なマホガニー、紫檀、黒檀、其他の硬木がある。礦物はカタंगाの銅の外、錫、コバルトラヂウム、銀、鐵を産し、ラヂウムは世界第一である。キロモト金坑外數ヶ所がスタンレーヴィル州にあり、カサイ河に金剛石がでる。農業は土人の食料自給に止まる。少量の棉花と珈琲がでるが、これが土人收入の重要品である。將來は開拓される肥沃地が多い。幸に公果盆地條約で本邦は通商上の均等待遇を得てゐるので最近三年間に本邦品は著しく輸入の躍進をせめたが、しかし一九三四年に全輸入の八分五厘しか出てゐない。

本邦貿易の顧客は勿論土人である。しかし歐洲人にも供給される。白人は一萬八千人に達する。土人にはバンツ族、スダン族、ハミチツク、又はニロチツク系ニグロ、ビグミーの四大別がある。ピグミーはスタンレーヴィル州の東部の熱帯林に住み、雜種はルアングルンディ及び中央コンゴに居る未開人で禪一貫の民だから貿易上重視してよい。スタンレーヴィル東北部にハミチツク、ニグロがあるが農牧に従事するものは少ない。スダン族はスタンレーヴィル州の北部に住み農牧に従事し、ウバンギ地方に多い。棉花をつくる、しかし其数は少ない。

そこで残つてバンツ族がコンゴリ土民の大部分をしめる中部アフリカの種族は皆この種で智能の度が高く教化すれば進歩の見込が多い。農業を主としてゐる。つまりバンツとスダン二族が商品の相手になれる土人である。土人の成年男子は一九三三年末に二百七十三萬九千人この中三十萬人の勞働賃銀獲得者があつた。一日七十五仙乃至一法、一ヶ月百法内外をとる。東阿よりも低賃銀で働くから商品の輸入も少い、

住居に現金は不用であり(掘立圓小屋)食物も自足するから衣類を買ふ際に現金が必要である程度である。まだまだ半裸全裸の土人が多い。しかし洋服をきるものもあるがカーキ綾、帽子、ネクタイ、靴を用ひる。日本のカーキシャツ一枚十五法、同襪衣十五法でこの服裝が出来る。捺染綿布には腰に巻く材料である、女はキテンゲといふ捺染布幅一ヤード、長三ヤード半のものを乳から下にまき、その下に前垂をつけるのが多い。日本の捺染が入つてから婦人洋服が安くなつたので、簡單な洋服をきる女もある。従つて日本からの輸入品は棉布、捺染綿布、生地棉布、糸染綿布、人絹物、綿毛布、既製衣類、メリヤス、帽子、糸、靴、その他雜具、鐘錶、ランプ、自動車、自動車部分品、燐寸等が輸入される。將來棉花、椰子油、コーバル、木材等は日本への輸出品となる見込が多い。

○ロスアンゼルス市と其附近 人口百三十萬の羅市は米國でシカゴ以西最大の工業市で、この一郡の生産力は柔港及オークランド五郡の地方にも勝れてゐる、最近四年の月日と

一億六千五百萬弗の工費をかけたコロラド河の築堤完成し、公稱百八十五萬馬力の電氣が一九三六年から送電さるゝやうになればこの市は恐らく西部第一の都會となるであらう。今この地方の各種工業を數へると、第一は石油精製業で其生産高は加州の六二%に當り、全米を通じて第一位一億三千五百萬弗を生じ、第二は活動寫眞業がある。これは全米の九二%で製作費は一年約九千七百萬弗に上り従業員三萬人ホリウツドは全生産の六四%であつて、市外に四割六分の産出がある。賣上高一億二千七百萬弗、第三に肉類罐詰業四千萬弗、ソーセイジ製菓業も第一位をしめ鶏肉のドレッシングと罐詰業の製造も大きい。つぎに麵麩及ペーカリーも六千萬弗、印刷出版は既に桑港以上になつた。ゴムタイヤ、チューブ製造業も地の利で原料は東印度から輸入、硫黄とカーボンブラツクはテキサス州から入るので全米第二の地位をしめ従業員の俸給五百人一百萬弗に上る。婦人服製造業は活動寫眞の女優がきるので流行の中心となつたから益々其の製造は多く、やがて男子服、編物婦人帽、家庭裝飾品等も盛んに作られる。鑄物及機械製造は石油業のために需要が増大して今では中米へ輸出し家具類製造の如き、木材の生産地がないけれども、運賃の關係で、地元製造が盛大になり、製材業も他地方を凌ぐに至つ

た。動物糞鶏用飼料製造業、魚類罐詰業いづれも全米第一の成績であり、化學製品、果實野菜罐詰、電氣機械器具製造をはじめ小麦穀類製粉、塗料肥料製造、食糧雜品製造、アイスクリーム製造、裝飾用鐵材、製菓業、男子小兒服、酒類ビール醸造業、編物メリヤス、ポンプ製造、香味料、染料果實汁製造業、製氷業等近代工業はすべてロスアンゼルスと其附近の發達を語らざるものはない。電氣が通じた上に、コロラド水運の灌漑がこの州を潤すやうになつたならば、恐らく北米一二の大都會となるであらう。四時溫暖の亞熱帶地方で立廻りて開始された工業である。ストーブや料理用ストーブや、暖房具や、風呂のヒーターなどが三百萬弗以上の生産をすることを考へても、この市の將來は刮目すべきものがあらう。

○第二十六卷第三號所載明石舊家化石含有層内の植物化石(三木茂著)の正誤

七頁 *Thuopsis dolabrata* S. et Z. は *Thuja Japonica* と訂正す。

二五頁 *アカシシノキ* (*Schefflera fasciata* n. sp.) は 蝦の幼蟲糞なりしを以て抹消す。